

ビジネス会計検定試験の公式テキストに表記の変更、記述の修正等がございました。
 お手数をおかけして申し訳ありませんが、ご修正の上、ご利用くださいますようお願い申し上げます。

ビジネス会計検定試験 公式テキスト2級 [第4版] 修正一覧表

ページ	修正前	修正後
第1刷～第25刷をお持ちの方		
p.58 図表3-14「社債(1年以内償還)」説明文3行目	「ただし、 <u>発行価額</u> よりも…」	「ただし、 <u>額面金額</u> よりも…」
p.151 例題7-9		問題文「投資活動および財務活動以外の活動による現金及び現金同等物の増減額はないものとする。」を削除。
第1刷～第7刷をお持ちの方		
p.24 図表2-3 A社の説明	45%かつ議決権を行使しない株主(10%)の存在	45%かつ議決権を行使しない株主(15%)の存在
p.29 (3) 下3～2行目	原則法により連結キャッシュ・フロー計算書を間接法で作成する場合、	原則法により連結キャッシュ・フロー計算書を作成する場合、 ※「間接法で」を削除
p.42 図表3-3 「リース債権及びリース投資資産」の説明文	貸借対照表日 <u>から</u> 起算して	貸借対照表日 <u>の翌日</u> から起算して
p.59 コラム中段の表		負債性引当金の例から「退職給付に係る負債」を削除。
p.107 例題5-1		<連結包括利益計算書>の「退職給付に係る調整額」の金額欄(空欄)の下線を削除。
p.115 図表6-2		「資本金の変動事由」の⑤を削除。 「資本剰余金の変動事由」に⑤を追加。
p.133 図表7-4	IV 現金及び現金同等物に <u>かかる</u> 換算差額	IV 現金及び現金同等物に <u>係る</u> 換算差額
p.133 図表7-4	IV 現金及び現金同等物の期中増減額	V 現金及び現金同等物の期中増減額 以下「V⇒VI」「VI⇒VII」にずらす。
p.198 (4) 2～3行目	現金及び預金と <u>売買目的有価証券(流動資産の部に記載されている有価証券)</u>	現金及び預金と <u>流動資産の部に記載されている有価証券(売買目的有価証券)</u>
p.198 (手元流動性)の算定式	現金及び預金+ <u>売買目的有価証券</u>	現金及び預金+ <u>有価証券(流動資産)</u>
p.199 (手元流動性比率)の算定式	$\frac{\text{(現金及び預金+売買目的有価証券)}}{\text{売上高} \div 12}$	$\frac{\text{手元流動性}}{\text{売上高} \div 12}$
p.276 中段		A社・B社のPER計算式の「×100」を削除。